



## 子ガメの飼育で命の尊さ学ぶ 10/1

アカウミガメを来年の夏まで飼育するため、子ガメ受け入れ式が御前崎小で開かれました。これは、同校で30年以上続くもので、実際にウミガメに触れることで、命の大切さや自然の厳しさを学ぶのが目的です。この日、飼育を担当する5年生に、ウミガメ保護監視員から子ガメ30匹が託されました。

◀ウミガメ保護監視員から子ガメを託される児童



## 今年もユニーク作品勢ぞろい 10/6

新野地区では、「新野カカシ祭り」が10月1日から10月12日まで開催されました。ユニークなカカシ43点が出展され、来場者を楽しませていました。

10月6日には、来場者による投票審査があり、最優秀の左馬助賞には、池新田デイサービスセンターの「お菓子な笑いあふれるデイサービス」が選ばれました。

◀今年も多くの来場者を楽しませた作品



## いもじいさんの遺徳偲び法要 10/18

「いもじいさん」の愛称で親しまれた故大澤権右衛門の遺徳を偲ぶ祥月忌法要が、海福寺で営まれました。祥月忌法要実行委員会の委員長でもある石原市長は、「御前崎市の農業発展に尽くした翁の功績は非常に大きい。市として、これからも農業振興に努力していきたい」と話しました。

◀今年も厳かな雰囲気の中、法要が営まれた



## 満開のコスモスをありがとう 10/19

大山老人クラブのメンバーが、第一小近くのコスモス畑を整備し、満開のコスモスを咲かせてくれたことから、第一小4年生が感謝の気持ちを伝えるため、「おじいさんおばあさん笑顔をありがとうの会」を開きました。児童たちは一緒に遊んだり、合唱のプレゼントをして、同メンバーと交流を深めました。

◀感謝の気持ちが書かれたメッセージカードを手渡す児童代表